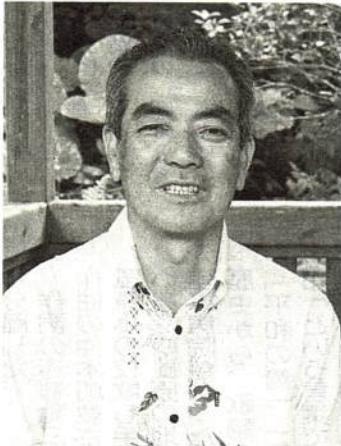


19日 日曜日 王亮 王求 齊斤 幸良

第3種郵便物認可

立候補予定者に聞く



當山 全伸氏

とうやま・まさのぶ 1948年10月25日生まれ。66歳。日本大農獸医学部卒。73年6月から村役場勤務。経済課長、企画観光課長、会計管理者などを務め、2009年に退職。東村有銘出身。



伊集 盛久氏

いじゅ・せいきゅう 1940年9月9日生まれ。74歳。東中学卒。66年村議に初当選。2002年までに計7期村議を務め、うち90年から3期12年は村議会議長。07年から現職。東村宮城出身。

東村長選挙が21日に告示され、26日に投票される。現時点ではいずれも無所属で、3期目を目指す現職の伊集盛久氏(74)と、元東村役場職員で新人の當山全伸氏(66)が出馬を表明しており、両氏の一騎打ちとなる公算が大きい。20年ぶりの選挙を前に、同村の現状と課題をまとめ、両氏に出馬の決意や重要政策などを聞いた。(嘉陽拓也)

(3面に関連)

過疎化対策など争点に

東村の人口は3月末時点で1877人。近隣市町村同様に過疎対策が課題だ。2014年村制要区長らによると、進学や

就職を機に若者が村を離れるという。村商工会などによると、農業以外に目立つた就職先が少ない

く、雇用と住居の受け皿が不足している。住環境では、過去に村民間企業に賃貸物件の整備を打診したが、費用対効果の問題で実現しなかつた。伊集盛久氏は、定住促進住宅の整備継続で子育て世帯の受け入れをやす考え。當山全伸氏は、同住宅の入居者に就農を推進する施策で違いを見せる。

當山全伸氏は、同住宅の入居者で子育て世帯の受け入れをやす考え。當山全伸氏は、同住宅の入居者に就農を推進する施策で違いを見せる。

伊集盛久氏は、同住宅の入居者で子育て世帯の受け入れをやす考え。當山全伸氏は、同住宅の入居者に就農を推進する施策で違いを見せる。

伊集盛久氏は、同住宅の入居者で子育て世帯の受け入れをやす考え。當山全伸氏は、同住宅の入居者に就農を推進する施策で違いを見せる。

伊集盛久氏は、同住宅の入居者で子育て世帯の受け入れをやす考え。當山全伸氏は、同住宅の入居者に就農を推進する施策で違いを見せる。

伊集盛久氏は、同住宅の入居者で子育て世帯の受け入れをやす考え。當山全伸氏は、同住宅の入居者に就農を推進する施策で違いを見せる。

伊集盛久氏は、同住宅の入居者で子育て世帯の受け入れをやす考え。當山全伸氏は、同住宅の入居者に就農を推進する施策で違いを見せる。

伊集盛久氏は、同住宅の入居者で子育て世帯の受け入れをやす考え。當山全伸氏は、同住宅の入居者に就農を推進する施策で違いを見せる。

伊集氏、當山氏出馬へ

20年ぶり選挙戦 一騎打ちの公算

東村長選 21日告示、26日投開票

幼小中一貫で人材育成

「立候補への決意は、「無投票が続いた中で村民には、意見が集約されないまま、市政が運営されたという閉塞感がある。農業振興や少子高齢化の対策は待たなし。村政改革と豊かな村づくりを実施する」

「立候補への決意は、「後継者を育成するために、意見が集約されないまま、市政が運営されたという閉塞感がある。農業振興や少子高齢化の対策は待たなし。村政改革と豊かな村づくりを実施する」